

平成 20 年度宮前区区民会議 公園・地域づくり部会（第 2 回）摘録

- 日 時 平成 20 年 7 月 7 日（月）午後 3 時から 5 時まで
- 会 場 宮前区役所 4 階第 2 会議室
- 参加者 田邊部会長、後藤委員、福本委員、佐藤委員、鈴木委員（以上、部会委員）
永野委員長、川西副委員長（オブザーバー）
- 事務局 田邊企画課長、中山同主査、成沢職員、福田研究員（コンサルタント）
- 傍 聴 1 名

開会（田邊企画課長）

- ・6 月 23 日に第 1 回「宮前区の顔づくり部会」が開かれ、正式名称は「宮前区の宝さがし部会 ～ときめき再発見～」、部会長は高木一弘委員に決まったと報告がありました。

（1）第 1 回部会の論点整理と今後の議論の進め方について

（事務局が、資料 1「公園・地域づくり部会（第 1 回）論点整理と今後の審議の進め方について」、資料 2「宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 議論ペーパー」の内容を説明した後、意見交換をしました。）

事務局 第 2 期の委員の任期は 2 年です。第 1 期は、年度ごとに新しい部会を立ち上げましたが、第 2 期は 2 年続くと事務局では考えています。今回は、いくつかの分野を一括りにして横につないで部会を立ち上げていますので、次に選択する分野を選べないのではないかと考えます。ただし、2 年間だらだらとやるのではなく、単年度ごとに各段階で提案がまとまれば報告する。単年度で部会を解散するのではなく、2 年をかけて議論していただきたいと思います。現状と課題を踏まえて解決策を議論することになるかと思いますが、課題に優先度をつけて、順次優先度にしたがって議論することも考えられると思います。この辺は、企画部会の中でも確認することになりますが、個々の部会でも考えを聞かせていただき、確認できればと思います。

田邊部会長 事務局で説明いただいたように、現状と課題、解決策という順番で進めて行きたいと思いますがいかがでしょうか。

川西委員 資料 2 のペーパーは、具体的にどういう課題があり、課題解決のために何をしたらいいかを積み重ねるとこういうフォーマットに集約されますというもので、過去 2 年間の区民会議の中でも使用してきたものです。資料 2 の大まかなものを埋めるためには、具体的な議論をしなくてはできないと思います。資料 3 に皆さんの公園に対する気づきを書いてありますから、具体的に良い点、悪い点の要素を出し、気楽に誰でも行きやすい公園とはどういう条件を持っている公園なのか、反対に良くない公園とはどういう条件を持った公園なのかを洗い出して、良くない条件をどうクリアし、どこがどう進めたらいいのかを検討することが、区民会議の今後のスケジュールに結びつくことだろうと思います。

事務局から 2 年間のスパンでという話ですが、今回は横断的にいろいろなところに関わるステージとして公園を切り取りましたから、それくらいのスパンは必要かと思います。段階段階で報告するよりも、最初の 1 年間で共有できる公園のあり方、理想となる公園の前提条件をきちんと整理し、個別地域の中でどういう公園を整備するかは、そこに住んでいる住民の方が決

める話で区民会議がどうこうする話ではないですが、最大公約数的に宮前区の公園というと基本的にはこういう前提条件を備えているというフレームが一年目でできれば、二年目からはそういう公園を作るために、どこに働きかけ、どういう施策をすればいいかに話が進むと思います。

資料1の上に公園の理想像のイメージのキーワードが書いてあります。地域コミュニティづくりという観点で5つ出ていますが、もう一つ、自然の保全という要素が必ず入ると思います。もう一つの部会で、宮前の新しい顔が議論されているようですが、宮前区の特色の一つとして、いろいろなスタイルの使いやすい公園が宮前区にはあるんだよということが特色になれば、2年間の成果になると思います。一つは自然のあり方がどうか、もう一つはコミュニティのあり方がどうか。この部会は、コミュニティのあり方の議論が主になると思いますが、そういう風に分けて議論できればと思います。

永野委員 オブザーバーで参加しているので、みなさんで決めていただければいいかと思います。私たちは市民活動団体ではなく区民会議ですので、課題を分析し、問題点を明らかにし、その課題解決のためにはどういう方法があるのかに進まないといけません。ここに集まる人は市民活動の経験者ばかりですから、議論に熱中すると活動に先に行ってしまう。課題を冷静に分析する作業から始めて、どうすれば解決策にいたるかです。そのために、資料2の現状、課題、課題解決策という流れになると思います。これは、大きく最終的にはこういう項目に行くんだよということだと思います。議論は資料3から入っていいと思いますが、常に、現状の分析と解決する課題を明らかにした上で、具体的な解決策に行くということを念頭に置いておけばいいかと思います。

鈴木委員 2人と同じ考えです。

福本委員 資料3に、良い点、悪い点がはっきり出ていますから、その中から一つひとつ絞り込み取り組むのがよいと思います。何もないところから持っていくよりは、資料3があるので、それを軸にして絞っていく形がやりやすいでしょう。

佐藤委員 資料3を見て、皆さんの説明を聞いてからやるとわかりやすいと思います。

後藤委員 皆さんのおっしゃる通りです。

田邊部会長 それでは、資料3の内容の確認から進めていきたいと思います。

(2) 公園や地域コミュニティ等に関する現状と課題について

(資料3に基づき、各委員が担当した公園の内容を説明しました。なお、資料に記載された以外の説明は、以下の通りです。)

田邊部会長

□ 18 神木公園

駅から交差点をまっすぐ来た道をガソリンスタンドを左に見て入ると神木交差点があり、その右側の公園です。面積は4,900数㎡です。以前は公園愛護会が管理していましたが、現在は自治会と一緒に公園管理運営協議会のメンバーが管理をしています。好天気の時12時頃は、乳母車の親子がランチを楽しんでいます。感心するのは、お母さんが回りにあるゴミを拾って持ち帰りますので、遊具の周りにはゴミがありません。昔の地主さんもバックアップしています。11月に神木ふれあい祭りを開催します。夏祭りとは違い、11時から4時までで夜はやりません。絵画、写真、手芸

などの展示をします。ラジオ体操は、高齢者向けではなく、幼稚園児や小学生が対象です。

安全面で、ツツジやアジサイなどの低い木は 50 cm で伐ってしまいます。ニセアカシアやイチョウなどの高い木は 2.5m から下は成形しており、見晴らしがよく、安心して利用できます。これは、公園管理運営協議会の会長の強い意志で動いています。そのおかげで、子どもやお母さんが入ってこれると感じています。

佐藤委員

□3 菅生第4公園

広くて三段になっている公園です。小学生向けの遊具があり、放課後、たくさんの小学生が来ます。

□4 菅生みどり公園

子どもを遊ばせていた頃は、きれいで見晴らしもよく最適で、よく利用していましたが、久しぶりに行ってみると、雑草が伸び、ゴミがたくさん落ちていました。ゲートボール場、トイレはきれいでした。公園の横が竹やぶになっていて、夏場に若者の溜まり場になっており、青少年指導員の見回りの場になっているそうです。

□5 菅生緑地公園

大変広い公園で、年齢もさまざまな、たくさんの人が利用しています。イチョウ並木もきれいで、良いところですが。障害者用のトイレには常にカギがかかっている、使用する場合は事前に電話をしてカギを借りて開けていただくようです。せっかくあるのに使えなくてもったいないと思います。

□6 鷺ヶ峰子供の里公園

昔ながらの公園で以前はアスレチックがありましたが、今はローラーの長い滑り台があります。ゲートボール場があり、夕方になるとそこをサッカー場代わりに使っている子どもがいます。

□8 鷺ヶ峰けやき公園

以前は落書きがあり、消したことがあります。公園自体はいいですが、団地側から見えづらく、反対側が崖なので、道路側からは公園がまったく見えない状況です。公園の隣の空き地は、草がはえ、ゴミの不法投棄もあるので、防犯面で心配です。

□10 鷺沼第1公園

広い公園ではないですが、利用率は高いと思います。

□11 鷺沼公園

広くて良い公園です。トイレがあり、緑が多く、ゴミもなく、手入れが良い公園です。ローラーの長い滑り台を撤去した場所に、草が伸びていて防犯面が気になります。さわやか体操は高齢者対象ですが、係りの方が気軽に声をかけてくれて誰でも参加できます。高齢者の方も子どもと交流できるので喜んでいるそうです。

□12 鷺沼北公園

土橋の交差点から鷺沼の方に登る坂のところの公園です。時計があると、子どもを遊ばせやすいです。見晴らしがよく、高台のベンチの下に、富士山がどこ、丹沢がどこという標識が置いてあります。

□13 蔵敷公園

良い点を書けませんでした。緩やかな三段になっている公園ですが、砂場に上から土が流れこんで、草が生えている状況です。

□14 蔵敷第3公園

注意書きの看板がたくさんありました。そのせいで、良い点が多いのかは不明です。砂場は、猫の糞があるためにシートをしましたが、使いづらいうのでシートをはずしたそうです。

□15 有馬ふるさと公園

他の公園は、ああしてはだめ、こうしてはだめというのがありますが、ここは子どもが純粹に伸び伸びと遊んでいるように感じました。

□17 南平台なかよし公園

鷲ヶ峰地域包括センターがかかわって高齢者体操をしています。ここでは、子どもたちが参加するといったことはないそうです。

後藤委員

□19 児童公園（高山団地）

高山団地はお年寄りの方が多く、子どもを見かけることは少ないです。

□20 平公園

公園内の水道の水に敏感な方がいて、子どもたちが水道の水を余分に使っていると怒鳴る人がいます。泥団子を作ったときに、文句をつけられ、それからは子どもも行きたがりません。その方がいなければ、大変良い公園なので残念です。

□21 平4丁目公園

午前中は小さい子ども連れ、午後からは小学生がサッカーなどを行っています。砂場がないので、グラウンドの砂を一生懸命集めて山を作っているのを見ると、小さくてもよいので、砂場があると思います。水道がないので、私はペットボトルに水を入れて持って行きます。手洗いなどもあるので、やはり水道があるとよいと思います。8月に大きなお祭りがあります。

□23 平寺山公園

遊ばせるのに勇気がいる公園です。マンションとマンションの間を抜けていくような道で、フェンスが両側にあるため、追いかけられたら逃げ場がありません。ほとんど利用者を見たことがなく、夏場は草が茂り、中に入ろうとは思いません。外からの眺めも悪く、怖い公園です。緊急時の避難場所として残すにはいいですが、遊ばせるには向きません。

□24 平風久保公園

犬の糞、タバコの吸殻、お菓子の空き袋が多く、毎週掃除をしても追いつきません。自治会から刈り込みはさみと鎌を持って、普段から遊ばせる時にちょこちょこ草刈をしています。小学校が近いからか、4時以後に小学生が利用しています。

私以外の町内の方が公園事務所にいろいろ電話をかけるそうですが、年度末は対応が大変早く、電話をした翌日に来てくれました。

川西委員 地域安全マップの編集お手伝いしましたが、今それぞれのお話を聞いた中で、防犯上きちんとできていないところが多々あるかなという印象を持ちました。

福本委員 野川一帯は、100mの範囲に4つの公園が連なっています。公園を整備するとき、配置の問題はどうなっているのでしょうか。公園と公園の間にあるのは道路だけです。実際利用しているのは、野川第2公園と第3公園です。利用者は公園が分散しているため、子どもはいません。一番多いのは第2公園で、午前中はお母さんのグループが4グループ、午後は2グループほど来ています。第2公園は日陰がありいいということです。ただ、下が固く水はけが悪いのが欠

点です。第3と第4は、いい遊具がありますが、あまりにもくつつきすぎて利用者は少ないです。第3だけは地域の体操を週に1回しています。遊ぶ場所でも、路面の関係でお子さんを連れてお母さんが行きやすいのは第2です。もう少し利用する人のことを考えて、あまりにも公園が繋がったのでは意味がないです。第2だけは、一日に40~50名の利用があります。

鈴木委員 野川第3、第4公園などでは10年ほど前は、盆踊りをしていたんです。自治会の組織の問題でやめてしまったんです。山の上と下で町内会と自治外がわかれています。町内会は、盆踊りをするのに公園では狭いので、小学校の校庭を使っています。野川町内会の公園は小さかったり、使いにくい場所にあるので、ほとんど子どもは使っていません。

福本委員 「泥んこの会」などお母さんの会が5つくらいあって、午前中はどのグループ、午後は何のグループと使い分けています。

田邊部会長 野川公園は第1から第7くらい、昭和37年ころに整備されていると思いますが、これは、団地開発の関係ですか。

鈴木委員 野川台団地ができたときに、同時に整備されましたね。

福本委員 うちの団地は昭和35年ですが、そのときは団地の中に公園がありました。その後子どもがいなくなり、よそから遊びに来るようになりましたが、滑り台が腐食していて怪我をし、管理責任を問われたため、責任を負えないので公園を廃止したんです。すぐ団地の外に公園がありますが、そこはすり鉢状の公園でよく使っていますし、4mほどの道路を隔てて野川第3公園があり、そこが防災用の水の貯水池になっていて、そこで体操をしています。子どもは一日4人くらいしか来ません。どこの団地でも、小学校に行っている子どもは4、5人しかいませんが、盆踊りをするすると100人以上の子どもが来ますので、回りには子どもがいるんですね。

永野委員 事務局に質問ですが、都市計画公園とそうでない公園は、調べればわかるのではないのでしょうか。都市公園の中でも近隣公園や児童公園があります。マンションの提供公園、緑地の公園もあり、その性格によって管理の状態が違いますよね。地図の赤で囲っているのが、都市計画公園ですよ。

事務局 今すぐにはわかりませんが、調べればわかります。都市計画公園かどうかで管理状態が異なることはありません。ただし、近隣公園クラスになると実態としては違っています。街区公園レベルでは、開発によってできた、できない、区画整理によって整備されたなどありますが、管理の違いはありません。

田邊委員 資料2の公園に関する現状と課題を出していただいたわけですが、他の方のご意見も必要かと思えます。22の事例だけで、宮前区の公園を判断するのは難しい点もあるかと思えますが、これをもとにして状況を列挙してはどうかと思えます。その上で、次回、取り組む課題につなげていくかを検討したいと思えますがいかがでしょうか。

事務局 川口委員から状況を整理していただきましたので、それも参考にして整理してみたいと思います。

田邊委員 トイレ、遊具、ベンチの問題について、区役所として何かご意見はございませんか。トイレについて、一時は公園にトイレをつくるという意見がありました。最近、周辺の住民の意見を聞くと、必ずしもトイレが必要かという声があります。ベンチの問題ですとか、事務局は何かご意見はありますか。後藤委員からは、期末について云々という意見もありました。

事務局 期末についての話ですが、前回公園事務所の方が説明した通り、予算は右肩下がりです。それ

ばかりではありませんが、苦情があってそれに対応という形で追われます。夏には雑草、秋には落ち葉など、自然相手ですので管理のサイクルがあります。年度末は冬で他の季節に比べると対応しやすかったということで、予算の問題ではないと思います。

佐藤委員 私も、以前、公園の遊具にペンキを塗りたいと公園事務所に話をしたときに、ペンキの性質があり夏場はダメという話があり、効果的に塗れる時期まで待ってくれといわれたことがあります。

田邊部会長 公園事務所に話しをするときに、防犯上の問題と子どもの安全・安心をまず重視します。何かが起こりうるという形で話をすると、早めに対処してもらえる感じがします。それには、緑地愛護会や管理運営協議会などの問題もありますが、実際にそこに関わっている団体を通して話しをすると、意外にスムーズに行く場合があります。

私としてはここに書かれた他にも、今日出席していない方のご意見もあると思います。事務局にお願いしますが、早めに整理していただき、他の意見がないか次回までに聞いてもらえますか。

事務局 今、皆さんからいただいたご意見と、前回公園事務所から指摘いただいた課題がメールや電話などの形であります。生の意見は出せないものもありますから、そういった課題を整理したいと思います。

田邊部会長 そういった課題を踏まえ、お母さん方が少しでも早く公園を利用できるようにしていただけるとありがたいです。そのために、皆さんが課題を取り上げて検討していただくことの結果につながる面もあると思います。

永野委員 コミュニティなど使い方の始点から一回整理するといいと思います。高齢者体操などグループで使っている活動が出ましたが、少年野球など単体で使っているものもあります。地域のコミュニティで盆踊りなどもあります。使い方の視点で整理してもらおうと、次はこういう使い方があるのではないかなと成るでしょう。

川西委員 今回、各公園のいい点、悪い点を出した目的は、資料1にある理想となる公園の前提条件を整理する。植栽がどうである、砂場がどうであるなどハード面を整理することです。そのためには、全ての公園を調査する必要はないと思います。評価を分けているポイントは何かを整理することと、発表の中に出ていましたが、コーディネートする団体があると、いつも管理されてきれいだということもあるでしょうし、管理運営協議会や愛護会が立ち上がっていない公園は、そこまで管理が行き届いていない評価になるでしょう。管理面での運営を潤滑にするために、区民会議はどういうところにどういう働きかけをしたらいいかという筋道になるわけです。さきほど、大きな団体利用はあるけれど、日常的な利用は単体のグループ利用が多いという話がありました。もっと有効に、地域の資源である公園を出会いの場として活性化するためには、諸団体間の交流を促進するような仕掛けを作らないといけないわけですよね。それがすでにできている公園もいくつかあるわけです。それはどういう工夫をしているかということ、ハード面では、きちんと機能的な使い分けをすとか、午前中はここが使うなど調整するコーディネート組織があるなど、少しずつですが見えています。まずハード面でどういう公園が最大公約数として利用しやすい公園なのかポイントをあげ、それを改善するのは行政かもしれないし、公園課かもしれません。

もう一つ感じたのは、若いお母さんたちが、乳幼児を連れ公園に行きますが、管理にタッチ

する姿が見えてきません。公園を単に利用するお客様ではなく、みんなで公園を育てていくという啓蒙・啓発活動をするなど、しなくてはいけないことは自然と見えてくると思います。

自然のあり方をどうするかと、コミュニティの場のあり方という二つの方向性があるかと思っています。コミュニティの場のあり方としての公園は、コーディネーターの存在が絶対に必要だと思いました。一つは管理運営していくものと、現地で遊ぶときに、東京都内ならプレイリーダーがいますが、現地コーディネーター養成が考えられるでしょうし、利用者の意識向上啓発をすることで、清掃管理を普段の活動の一貫に組み込んでもらうことも必要でしょう。公園を活動場所にするグループがいろいろありますね。包括センターが管理しているところはかならず体操をしていますよね。そういうグループが関与するとできているわけです。そこをもっと促進する。たとえば、何かのグループがあるとしたら、公園に行って何か体験できるような活動の企画を立てませんかというように、公園に踏み込むアドバイスをするなど、区民会議でやらなくてはいけない方向性は見えてくると思います。

田邊部会長 それはわかりますが、一足飛びにそこにもっていくのではなく、皆さんの意見をまず書き出して、それに対してどんな形で行くのか。解決策まで持っていったいいのか。私のようにまだ何もやっていない、区民会議にぼっと出てきて、じゃあここまでやりましょうというのがいいのかはクエスチョンマークです。いい面と悪い面、なぜそういったものが出てくるのか、最終的に課題に持っていく。最終的には子育て、高齢者などコミュニティに持っていかうとは思いますが、しかし、ここですぐいい面と悪い面を列挙し、最大公約数的にこうであると出して、解決策に持っていくというのはクエスチョンマークなのではいかなうかでしょう。

佐藤委員 第1期は2年間、1年間がはっきりしなかったのが、急いでいた部分があります。前回参加したときに、いい公園がたくさんあると思っていました。いい公園から交流をはじめればいいのではないかと考えていたんですが、川西委員が気づきが大切だと最後におっしゃったので、自分自身で気づきができるまで回ろうと思いいろいろ回りました。資料にあげた以外にも公園を回りましたが、問題点としては類似している点が多かったのが提出しませんでした。いくつか回った結果、共通する点はあるのではないかとというのが思ったところです。コミュニティまでつなげるには、次回には方向性を決めて動いていかないと間に合わないと感じています。

田邊部会長 先ほど事務局にお願いしたように、前もってある程度の資料をお渡しいただけると活発な意見が出せるのではないかと思います。公園に対する問題の把握をまず終わらせてから次の高齢者やコミュニティに持っていく、土台がはっきりしていないと、次に行ったときに、高齢者はこう、子育てはこうということだけが重要視される印象があります。私は子育ては40年前に終わりました。自分はタッチしていません。他の人の情報で判断するしかありません。そうしますと、佐藤委員や後藤委員の話をもっと聞きたいです。目代委員が本日はおりませんが、社協で感じている高齢者や子育ての実情、その人たちの目線で情報を集めないといけないかなという感じはしております。

鈴木委員 私はまったく反対です。公園の実情は、今日、本当によくわかりました。ここでやらなくてはいけないのは、公園に対してどういうコミュニティが必要かを議論するのだと思います。この部会の目的が何なのか、それに合わせて公園をどうもって行けば使いやすくなるのかを議論する場だと思っていたので、逆の視点から攻めると私は思っていました。

田邊部会長 着地点から逆にやる方法も確かにあるかと思いますが、それでいいのかがクエスチ

ヨンマークです。今日、公園に対する現状を出していただきました。次回までに前もってみなさんに渡していただいた上で、最初の段階からどう進めるかをみなさんにお聞きしてやっていきたいと思います。

永野委員 一度整理しなくてはいけないと思います。いろいろなハード面も出てきています。コミュニティの視点からどういう使われ方をしているか、地域ごとに大きな公園、小さな公園とまとまりがあります。使い方、コミュニティでグループ分けして整理できると、現状を把握しやすいかなと思います。

事務局 部会長がおっしゃるとおり、現状をきっちりと把握したいと思います。今日の論議を整理し、欠席している委員の意見を取り寄せて現状を把握したいと思います。もう一つ、ハード面の話が出てきました。トイレ、砂場、時計など具体的な話がありましたので、川崎市としてどういうスタンスを持って整備しているか、知っておく必要があると思いますので、公園事務所に問合せを確認したいと思います。

3. 今後の日程

今回は、ファックス、メール等で日程を調整し、9月以後で次回日程を決定することになりました。